

ハンドブックの目的（ワークの目的）

- 第1章では、普段は生き生きと暮らしている障がい者などが、まち（社会）の中にバリアがあることで、不平等な扱いを受けていることを知り、本来すべての人は平等であり、尊厳があることをワークを通して学びます。
- 第2章では、まち（社会）の中にある「バリア」を解消するために自分たちができることを考え、「障がいは本人ではなくまわりの環境の中にある＝障害の社会モデル」について知ります。
- 第3章では、肢体不自由者や視覚障がい者、聴覚障がい者など、それぞれのニーズや特性を知り、偏見や差別をなくしていくために、自分たちができることについて考えます。
- 第4章では、エレベーターやバリアフリートイレ、障がい者用駐車区画の適正利用に努めることや、まち（社会）の中にある障がい者などのためのマーク、身体障害者補助犬の紹介を通して、バリアフリーをよりよく進めていくための行動について考えます。
- 第5章では、「町田市障がい者差別をなくし誰もがともに生きる社会づくり条例」と「合理的配慮」について説明しています。
- 第6章では、子どもたちの学習を深めるため、先生や保護者向けに「心のバリアフリー」や、「障害の社会モデル」などの用語解説を行っています。

おわりに

まち（社会）の中には、障がいのあるなしや年齢・性別・国籍にかかわらずさまざまな人が暮らしています。

「心のバリアフリー」は、そういったさまざまな人たちと共に遊び、学び、働くなどの“経験”によって、理解がさらに深まっていきます。

「心のバリアフリー」を知り、みんなが暮らしやすいまち（社会）にするために行動していきましょう。

（ハンドブックの作成にご協力いただいた方たち）

- ・町田市立鶴間小学校5年生のみなさん
- ・町田市内の子どもセンターでヒアリングにご協力いただいたみなさん
- ・ヒアリングにご協力いただいた障がい当事者の個人・団体のみなさん

発行にあたって

私にもできる 心のバリアフリー みんなが暮らしやすいまちをつくろう
(心のバリアフリーハンドブック)

編集・発行 町田市 町田市福祉のまちづくり推進協議会

2025年4月初版

連絡先 町田市地域福祉部福祉総務課

〒194-8520 町田市森野 2-2-22

電話：042-724-2133 FAX：050-3101-0928

編集協力／株式会社アークポイント

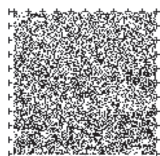
デザイン／有限会社レゾナ イラスト／杉野悦子（白玉社）

刊行物番号 25-1

リサイクル適正 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

スマートフォンアプリや専用の読み上げ装置で読み取ると、情報を確認できます。



音声コード Uni-Voice

ねん 年	くみ 組	なまえ 名前
---------	---------	-----------